

じゅんにんてんのうりょう
淳仁天皇陵

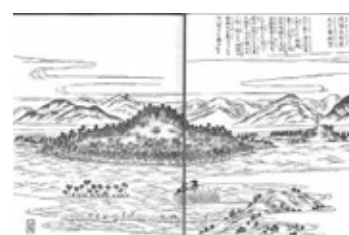
所在地：南あわじ市 賀集



淳仁天皇陵



御陵と三原平野の農の景観



淡路國名所図絵「淳仁天皇陵」



繪葉書にみる御陵 提供：成錦堂

淳仁天皇は、天平宝字 2 年（758）に第 47 代天皇に即位しました。6 年間の在位の後、皇位をめぐる争いに巻き込まれ、親王として天平宝字 8 年（764）に淡路島へ流されました。天平宝字 9 年（765）10 月に逃亡を試みるものの捕らえられ、翌日、33 歳の若さで亡くなったとされています。

古文書では「淡路廢帝」などと称され、淳仁天皇という名が贈られたのは、明治時代になってからのことです。

山形の常緑広葉樹が茂る淳仁天皇陵は、平坦な三原平野のなか、淡路島の歴史を感じさせるランドマークとなっています。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観



歴史がつくりだす景観

生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原 IC から、県道 31 号線、国道 28 号を南下し、県道 76 号線へ。車で 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 地形図